



教育の質で勝負できる学校を作る

— 建学の精神と社会人基礎力とpisa型学力を核にして —

平成29年6月24日(土)

学校法人安城学園 学園長
寺部 暁



はじめに





教育の質で勝負できる学校を作るために

- ◆ 智・徳・体・感・行に基づいた学修(学習)システム
と自学・教学システムを開発・実践すること
- ◆ 当面は建学の精神と社会人基礎力とpisa型学力
を核にした教育プログラム、シラバス及び教材を
できるだけ早期(5年以内)に開発・実践すること





仕事のルールについて

寄附行為の変更



◆それぞれの**根本原則**は？

- (近代)国家 ⇒

◆それぞれの**根本原則**は？

- (近代)国家 ⇒ **憲法**
- 会社(株式会社など) ⇒

◆それぞれの**根本原則**は？

- (近代)国家 ⇒ **憲法**
- 会社(株式会社など) ⇒ **定款**
- 私立学校(学校法人) ⇒

◆それぞれの**根本原則**は？

- (近代)国家 ⇒ **憲法**
- 会社(株式会社など) ⇒ **定款**
- 私立学校(学校法人) ⇒ **寄附行為**

寄附行為とは

◆それぞれの根本原則は？

- (近代)国家 ⇒ 憲法
- 会社(株式会社など) ⇒ 定款
- 私立学校(学校法人) ⇒ 寄附行為



- 学校法人の根本規則たるべきもの
- 法人の現在及び将来の在り方を規制するもの
- 記載が必要な事項がある
- 変更には所轄庁の認可が必要



寄附行為 主な変更点①

- ◆ 学校法人安城学園は、建学の理念及び建学の精神に基づいて学校教育を行い、地域・社会に貢献する有為な人材を育成することを目的とする。（第3条）





寄附行為 主な変更点①

- ◆ 学校法人安城学園は、**建学の理念**及び**建学の精神**に基づいて**学校教育**を行い、**地域・社会に貢献する有為な人材を育成すること**を目的とする。(第3条)



- ◆ 本法人の主たる目的は、「**建学の理念**」と「**建学の精神**」と「**真心・努力・奉仕・感謝**」の**四大精神の実践**を通して、創立者が目指した**経済的・政治的・文化的に自立できる社会人を育成すること**によって、**地域と国際社会に貢献すること**である。(第3条)



105th Anniversary

寄附行為 主な変更点②

◆ 建学の理念を新たに記載





寄附行為 主な変更点②

◆ 建学の理念を新たに記載



◆ 本法人の建学の理念は「**庶民性と先見性**」である。
(第4条)



寄附行為 主な変更点③

◆ 建学の精神を新たに記載





寄附行為 主な変更点③

◆ 建学の精神を新たに記載



- ◆ 本法人の**建学の精神**は、「生命体構想」に基づき、「宇宙の中の一つの生命体である人が、個人として**自立**しつつありとあらゆる生命体と**共生**することによって、**生きる意志と生きる力と生きる歡びに満ち溢れた**鵬のような大局的な存在となること」である。(第5条第1項)
- ◆ 学校法人安城学園の設置校の歴史と伝統を踏まえ、かつ「設立時の建学の精神」の基礎の上に立って、**建学の精神を理解し、実践することが肝要**である。(第5条第2項)



寄附行為 主な変更点④

◆ 主たる事業を新たに記載



寄附行為 主な変更点④

◆ 主たる事業を新たに記載



◆ 本法人は、第3条の目的を実現するために、次の各号に掲げる事業を行う。(第6条)

- こどもの潜在能力開発事業
- おとなの潜在能力開発事業
- 地域の潜在能力開発事業



寄附行為 主な変更点⑤

◆ 教育方針を新たに記載





寄附行為 主な変更点⑤

◆ 教育方針を新たに記載



- ◆ 本法人は、「**智・徳・体・感・行**」に基づいた学修(学習)システムと**自学・共学システム**を開発し、これに基づいて本法人の事業を行う。(第9条第1項)
- ◆ 前項の学修(学習)システムは、**智性**を鍛えるプログラム、**徳性**を鍛えるプログラム、**身体**を鍛えるプログラム、**感性**を鍛えるプログラム、**行動**を鍛えるプログラムを構成要素とする。(第9条第2項)

寄附行為 主な変更点⑥

◆ 行動指針を新たに条項化



寄附行為 主な変更点⑥

◆ 行動指針を新たに条項化



- ◆ 本法人は、本法人の事業を推進するにあたって、「**学校法人安城学園教職員憲章**」に従って行動する。（第8条第1項）
- ◆ 本法人は、本法人の事業を推進するにあたって、**教育基本法・学校教育法・私立学校法**をはじめとする関係法令に従って行動する。（第8条第2項）



仕事のルールについて

学則



◆それぞれの**根本原則**は？

- 私立学校(学校法人) ⇒ 寄附行為
- 学校(大学・高校など) ⇒

◆それぞれの根本原則は？

- 私立学校(学校法人) ⇒ 寄附行為
- 学校(大学・高校など) ⇒ 学則

◆ 目的について(第3条)

- 安城学園高等学校は、建学の精神にもとづき教育基本法¹の精神に従い、学校教育法により中学校に於ける基礎の上に心身の発達に応じて、高等普通教育及び専門教育を施することを目的とする。
- 岡崎城西高等学校は、建学の精神に基き、教育基本法に従い、学校教育法により中学校における基礎の上に心身の発達に応じて高等普通教育を施することを目的とする。



仕事のルールについて

3つのポリシー





3つのポリシー(三つの方針)

ディプロマ・ポリシー

(卒業認定・学位授与の方針)

学生が身に付けるべき資質・能力の明確化
＜PDCAサイクルの起点＞

各大学の教育理念を踏まえ、
一貫性あるものとして策定

カリキュラム・ポリシー

(教育課程編成・実施の方針)

体系的で組織的な教育活動の展開の
ための教育課程編成、教育内容・方法、
学修成果の評価方法の明確化

アドミッション・ポリシー

(入学者受入れの方針)

入学者に求める学力の明確化、
具体的な入学者選抜方法の明示

■ 平成29年度から全ての大学等は、3つのポリシーを一貫性のあるものとして策定し、公表することが義務付けられている。



3つのポリシー(基本的な考え方)

ディプロマ・ ポリシー (DP)

各大学、学部・学科等の教育理念に基づき、どのような力を身に付けた者に卒業を認定し、学位を授与するのかを定める基本的な方針であり、学生の学修成果の目標ともなるもの。

カリキュラム・ ポリシー (CP)

ディプロマ・ポリシーの達成のために、どのような教育課程を編成し、どのような教育内容・方法を実施し、学修成果をどのように評価するのかを定める基本的な方針。

アドミッション・ ポリシー (AP)

各大学、学部・学科等の教育理念、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに基づく教育内容等を踏まえ、どのように入学者を受け入れるかを定める基本的な方針であり、受け入れる学生に求める学習成果（「**学力の3要素**」についてどのような成果を求めるか）を示すもの。

学力の3要素

◆ 生きる力（現行の学習指導要領から）

- 確かな学力
- 豊かな人間性
- 健康・体力

学力の3要素

- 基礎的・基本的な知識・技能
- 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等
- 主体的に学習に取り組む態度

学力の3要素

◆ 生きる力（現行の学習指導要領から）

- 確かな学力
- 豊かな人間性
- 健康・体力

□ 高校3年生時点における受験生の
学力の3要素のレベルが
大学の入学要件の一つになっている

- 基礎的・基本的な知識・技能 ⇒ 獲得型学力
- 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な
思考力・判断力・表現力等 ⇒ 活用・解決型学力
- 主体的に学習に取り組む態度 ⇒ 学習態度



3つのポリシー（高校版）

◆ 高校でも、大学の「3つのポリシー」に相当する
ものを定めることが不可欠





3つのポリシー（高校版）

◆ 高校でも、大学の「3つのポリシー」に相当するものを定めることが不可欠

- 教育の質で勝負できる学校を作るためには、
高校版の3つのポリシーを策定することが不可欠



3つのポリシー(高校版の考え方)

ディプロマ・ ポリシー

卒業認定の方針

各高校、課程・学科等の教育理念に基づき、どのような力を身に付けた者に卒業を認定するのかを定める基本的な方針であり、生徒の学習成果の目標ともなるもの。

カリキュラム・ ポリシー

教育課程編成・ 実施の方針

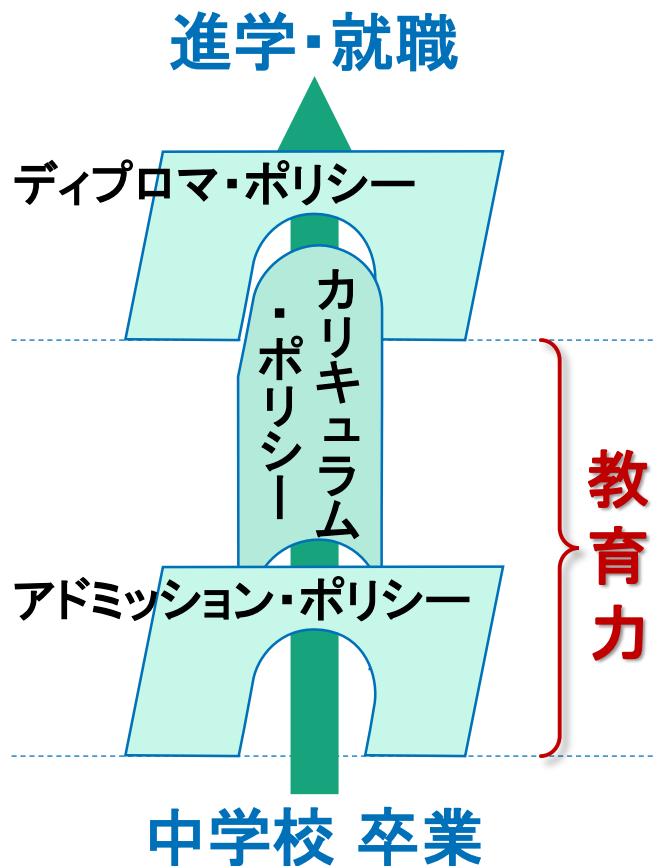
ディプロマ・ポリシーの達成のために、どのような教育課程を編成し、どのような教育内容・方法を実施し、学習成果をどのように評価するのかを定める基本的な方針。

アドミッション・ ポリシー

入学者受入れの 方針

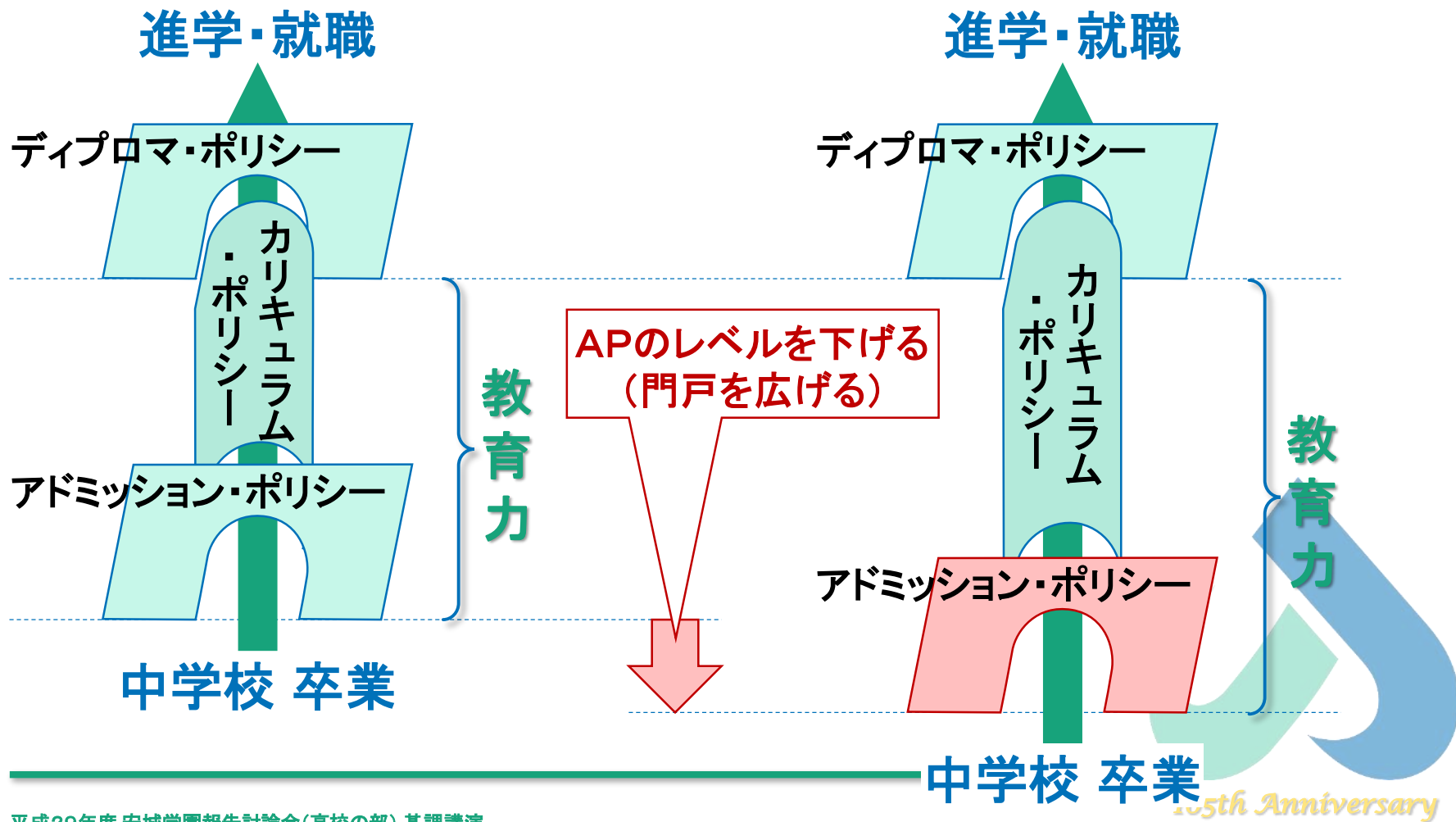
各高校、課程・学科等の教育理念、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに基づく教育内容等を踏まえ、どのように入学者を受け入れるかを定める基本的な方針であり、受け入れる生徒に求める学習成果（中学校レベルの「学力の3要素」についてどのような成果を求めるか）を示すもの。

3つのポリシーと教育力



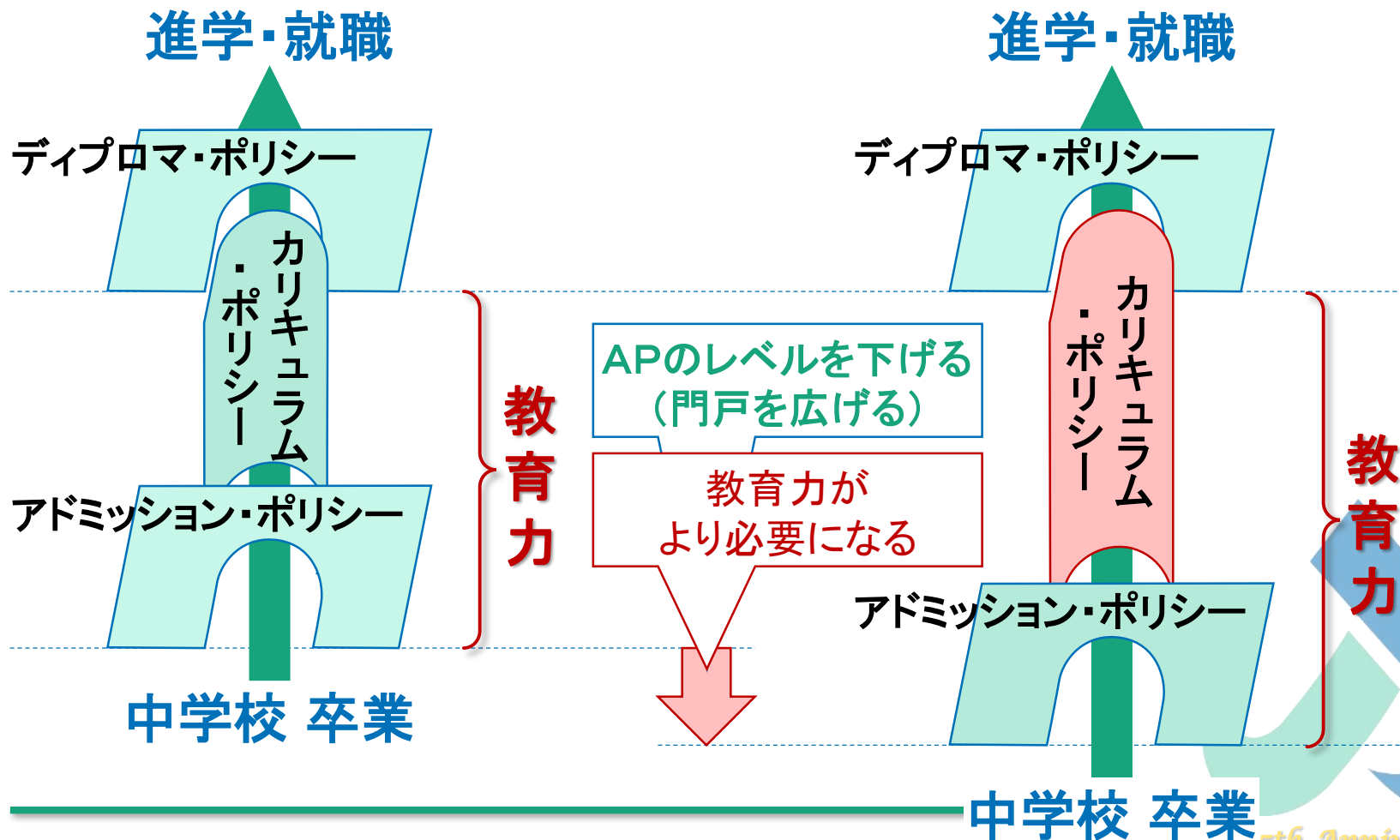


3つのポリシーと教育力



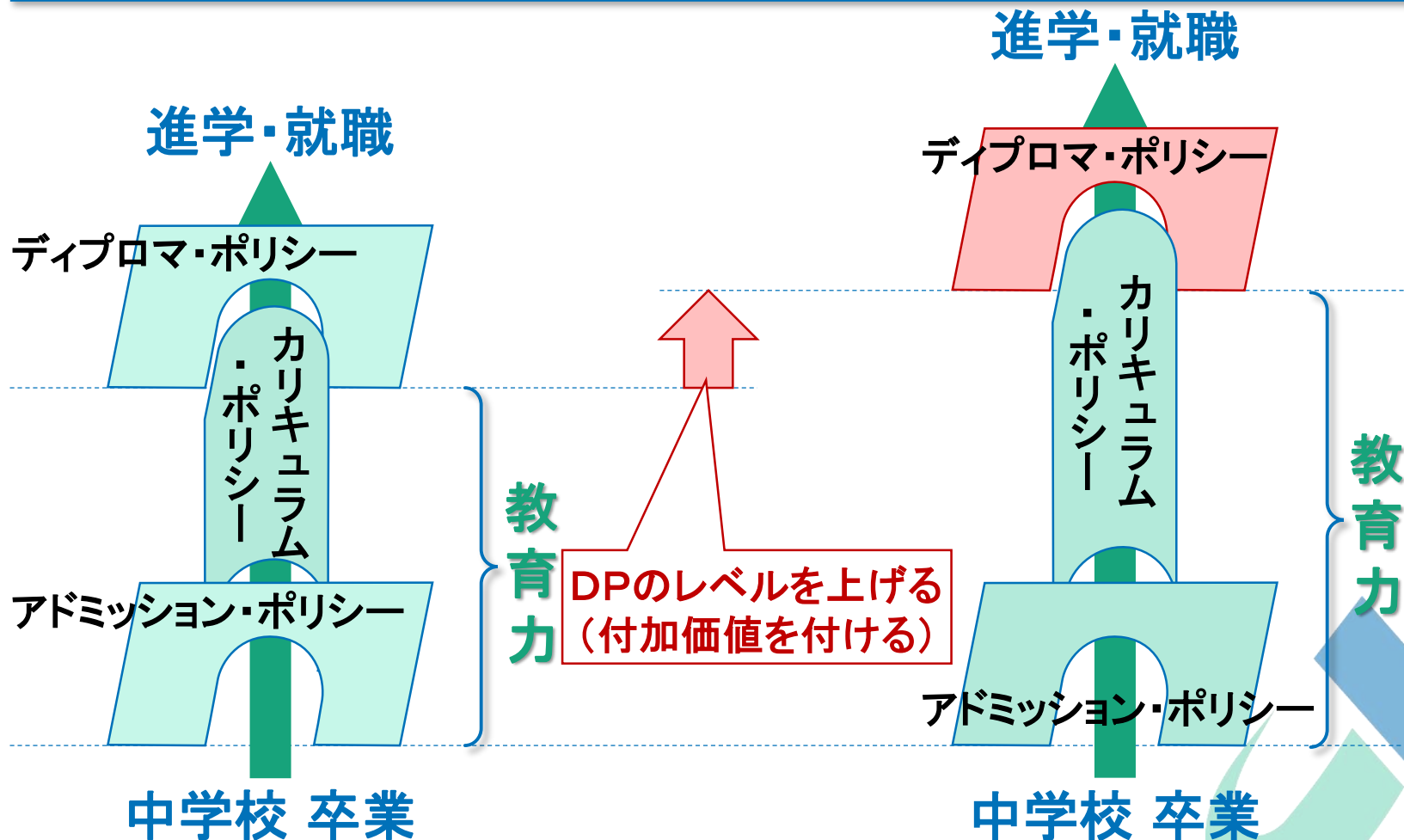


3つのポリシーと教育力



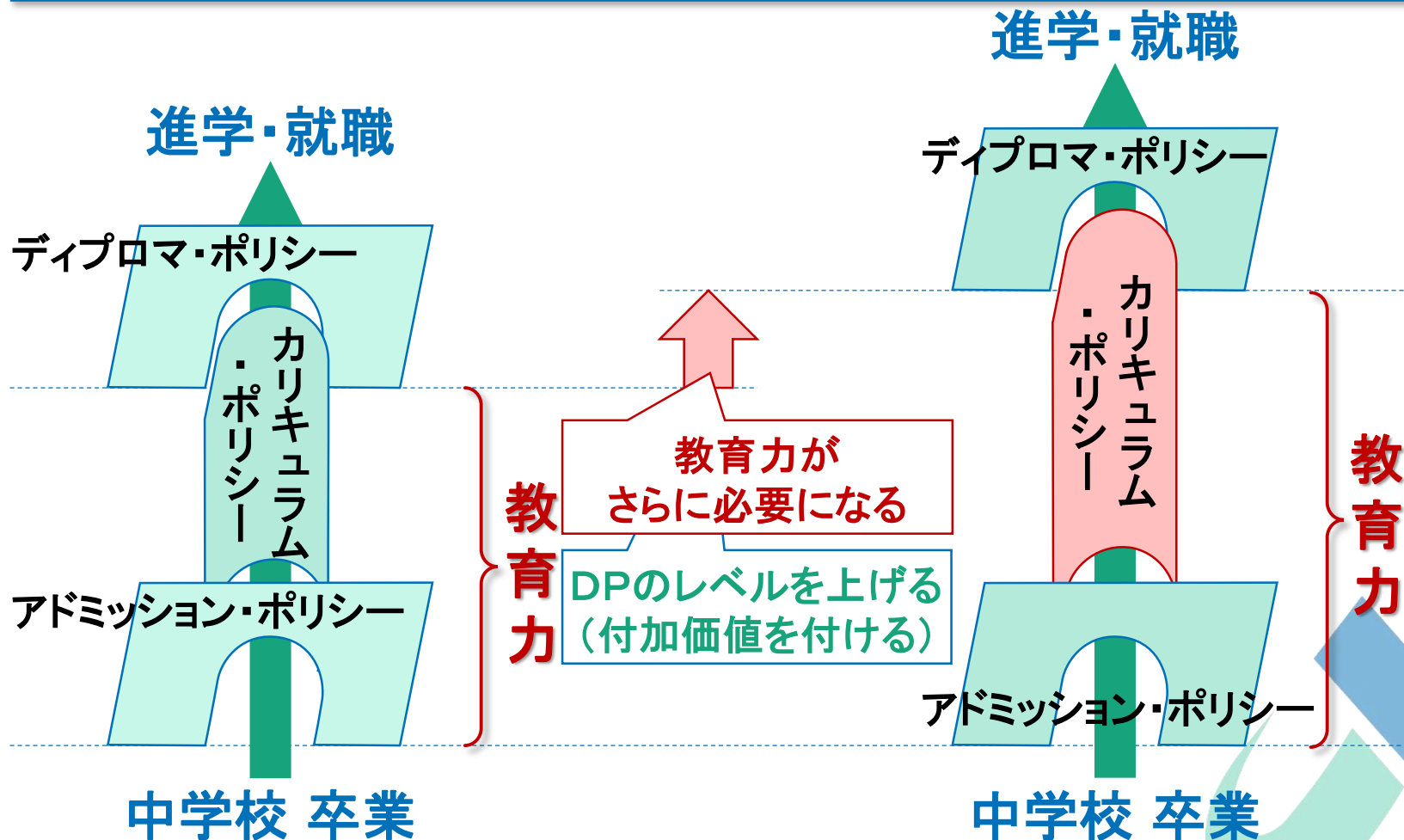


3つのポリシーと教育力





3つのポリシーと教育力





教育の質で勝負できる学校を 作るために



教育の質で勝負できる学校を作るために

- ◆ 高校版3つのポリシーの策定
- ◆ カリキュラム・マネジメントの確立
- ◆ シラバスの作成



カリキュラム・マネジメント

- ◆ 学校全体として、教育内容や時間の適切な配分、必要な人的・物的体制の確保、実施状況に基づく改善などを通して、教育課程に基づく教育活動の質を向上させ、学習の効果を最大化を図ること。

（文科省 平成29年3月公示 新学習指導要領「改定のポイント」から）



カリキュラム・マネジメントの側面

- ◆ 各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた教科横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していくこと。
- ◆ 教育内容の質の向上に向けて、子供たちの姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立すること。
- ◆ 教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源も含めて活用しながら効果的に組み合わせること。

(文科省 中教審 初等中等教育分科会 平成27年9月14日 配布資料から)

大学・短期大学では

- ◆ シラバスは、学生と学校との契約書
- ◆ シラバスを通した教育の見える化
- ◆ 授業改善のツールとしてのシラバス

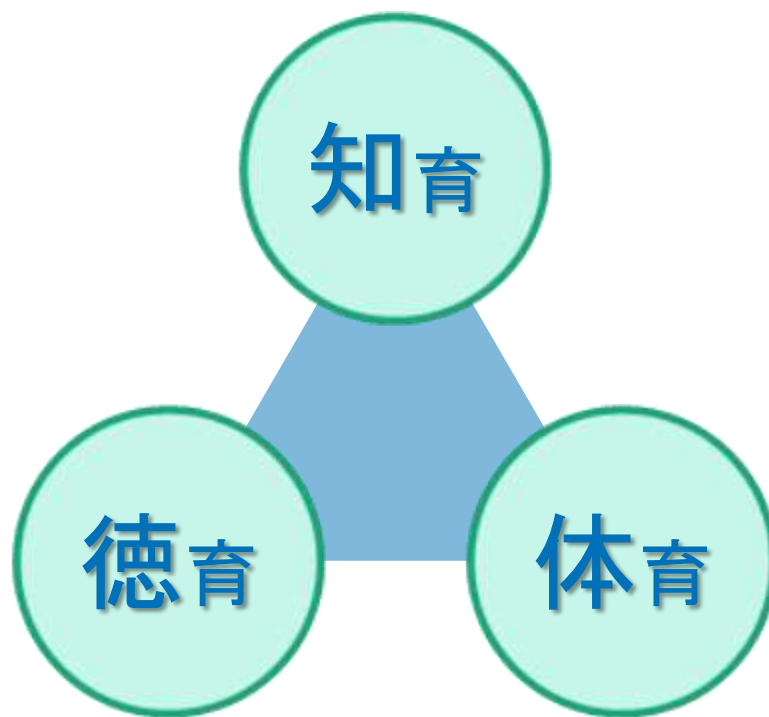


「智×徳×体×感×行」 プログラムとは



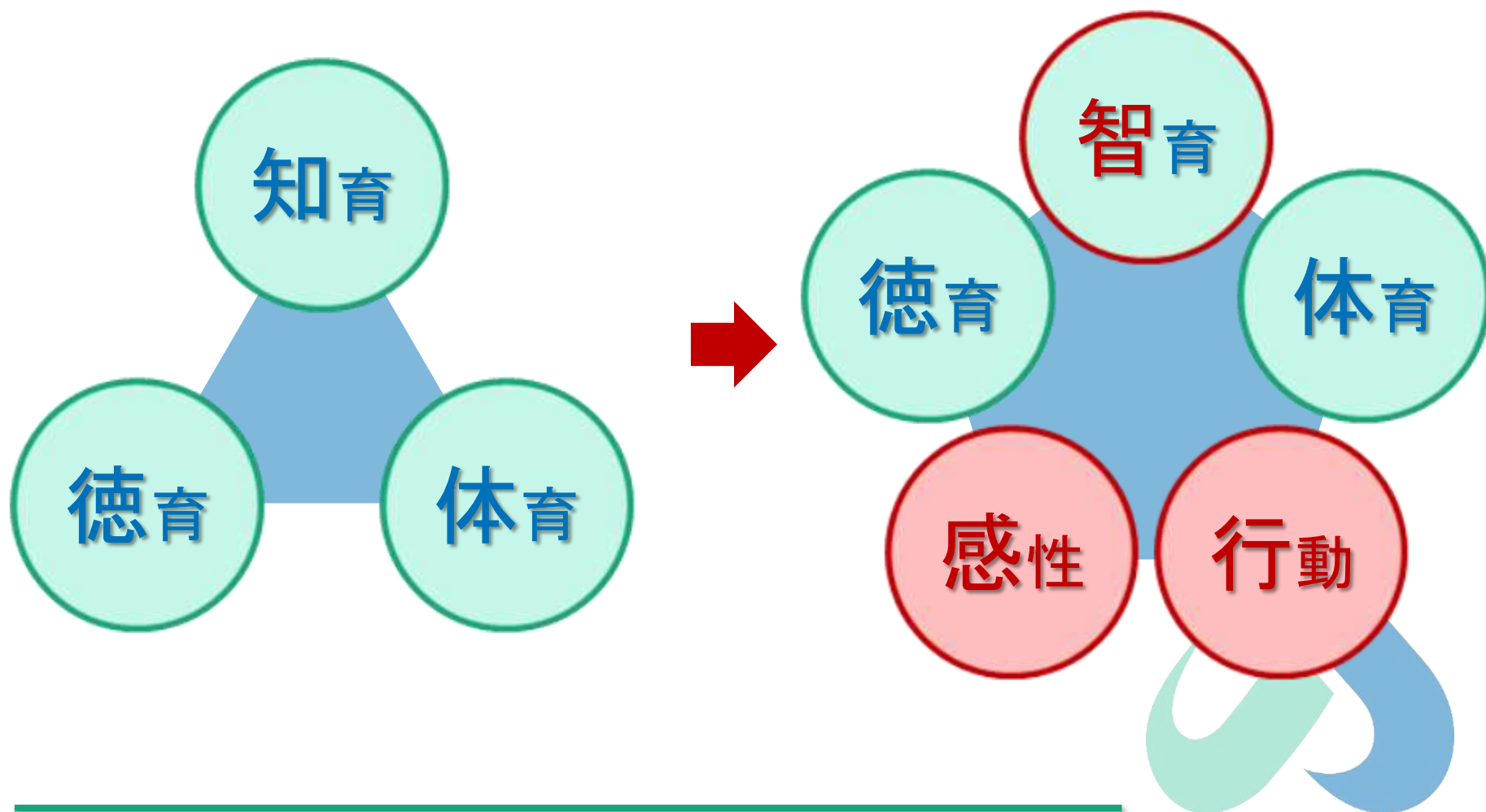


従来の学校教育モデル



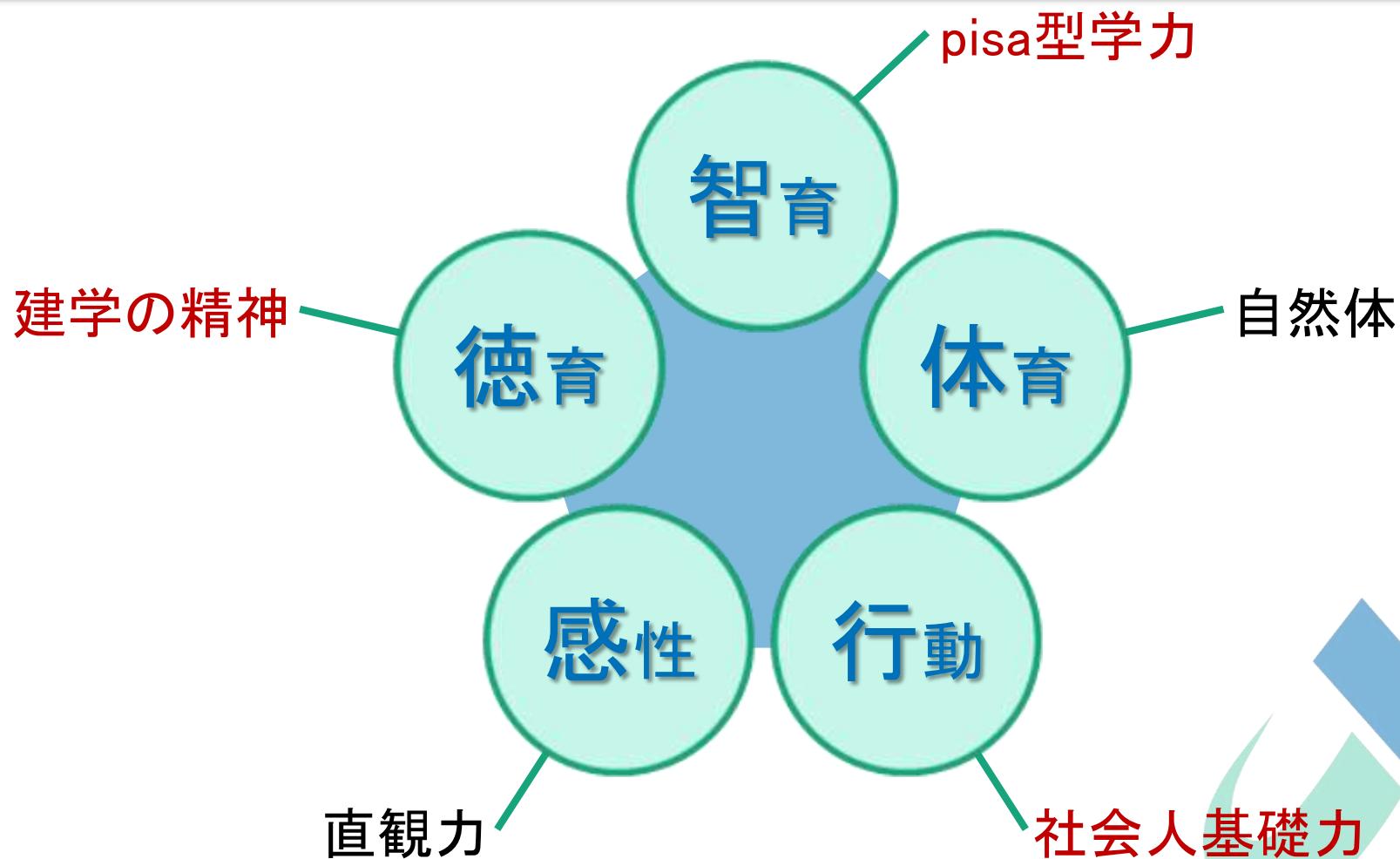
105th Anniversary

これからの教育モデル



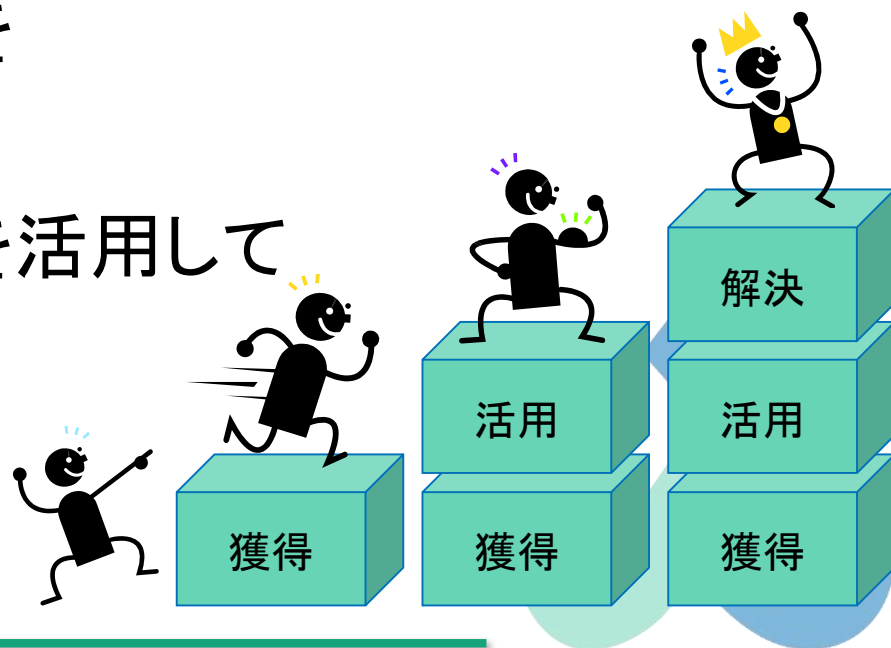


安城学園の教育モデル



◆ 3つのタイプの能力を統合した課題解決型学力

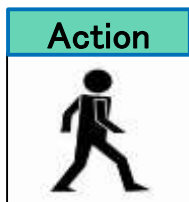
- 課題を解決するために必要な知識・情報等を
獲得する力
- 獲得した知識・情報等を
活用する力
- 獲得した知識・情報等を活用して
課題を解決する力



- ◆ 平成18年に経済産業省が提唱
- ◆ 職場や社会の中で多様な人々と共に仕事をしていくために必要な基礎的な力
- ◆ 3つの能力・12の能力要素で構成される

前に踏み出す力

- 主体性
- 働きかけ力
- 実行力



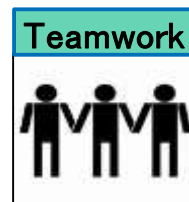
考え抜く力

- 課題発見力
- 計画力
- 創造力



チームで働く力

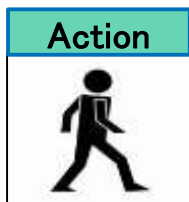
- 発信力
- 傾聴力
- 柔軟性
- 状況把握力
- 規律性
- ストレスコントロール力



◆ 複数の人々がお互いに協力・協働して共通の課題等を解決していくに当たって、一人ひとりのメンバーに要求される3つの能力を統合した課題解決型行動特性

前に踏み出す力 考え抜く力

- 主体性
- 働きかけ力
- 実行力

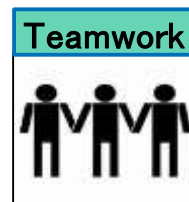


- 課題発見力
- 計画力
- 創造力

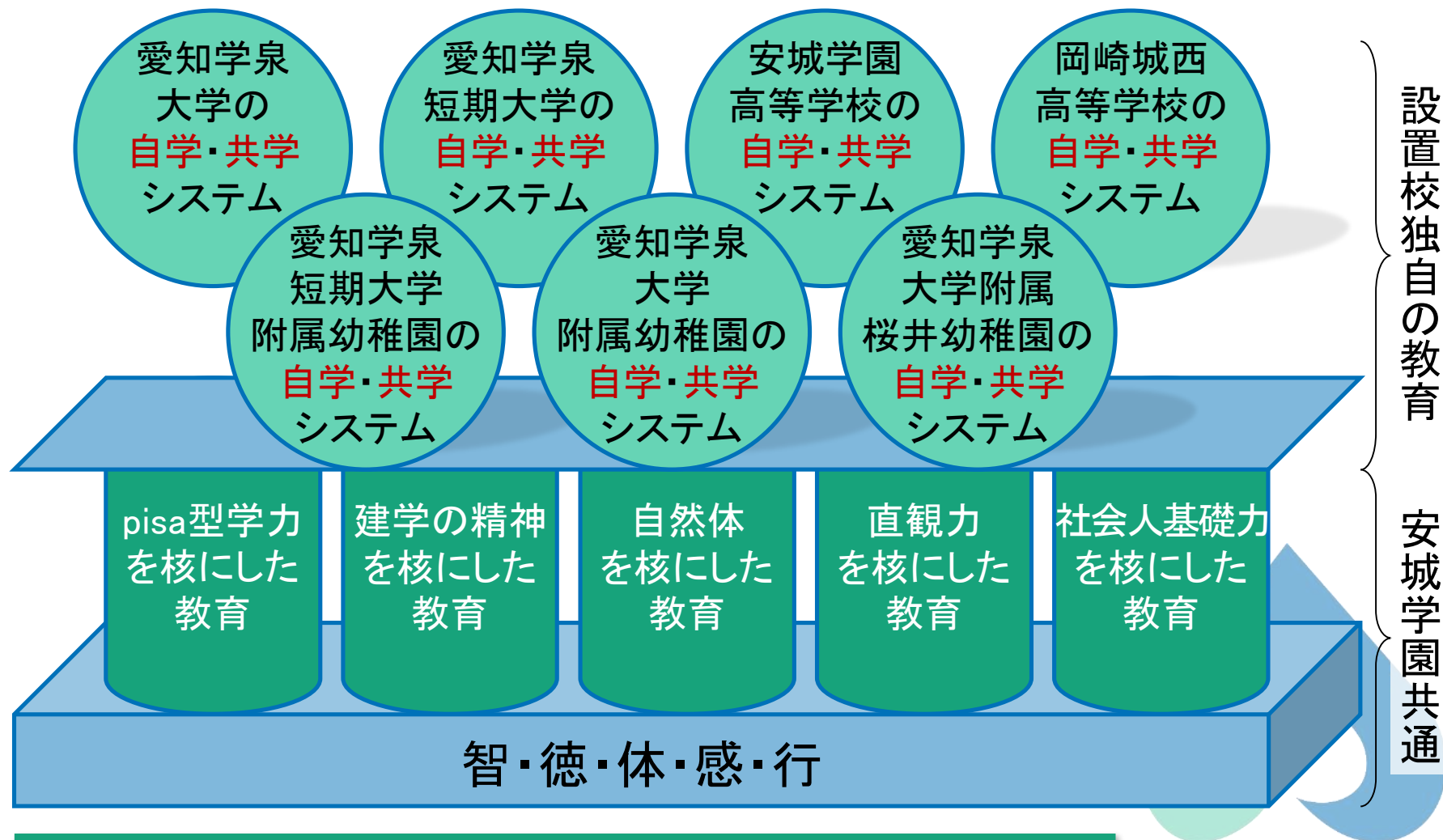


チームで働く力

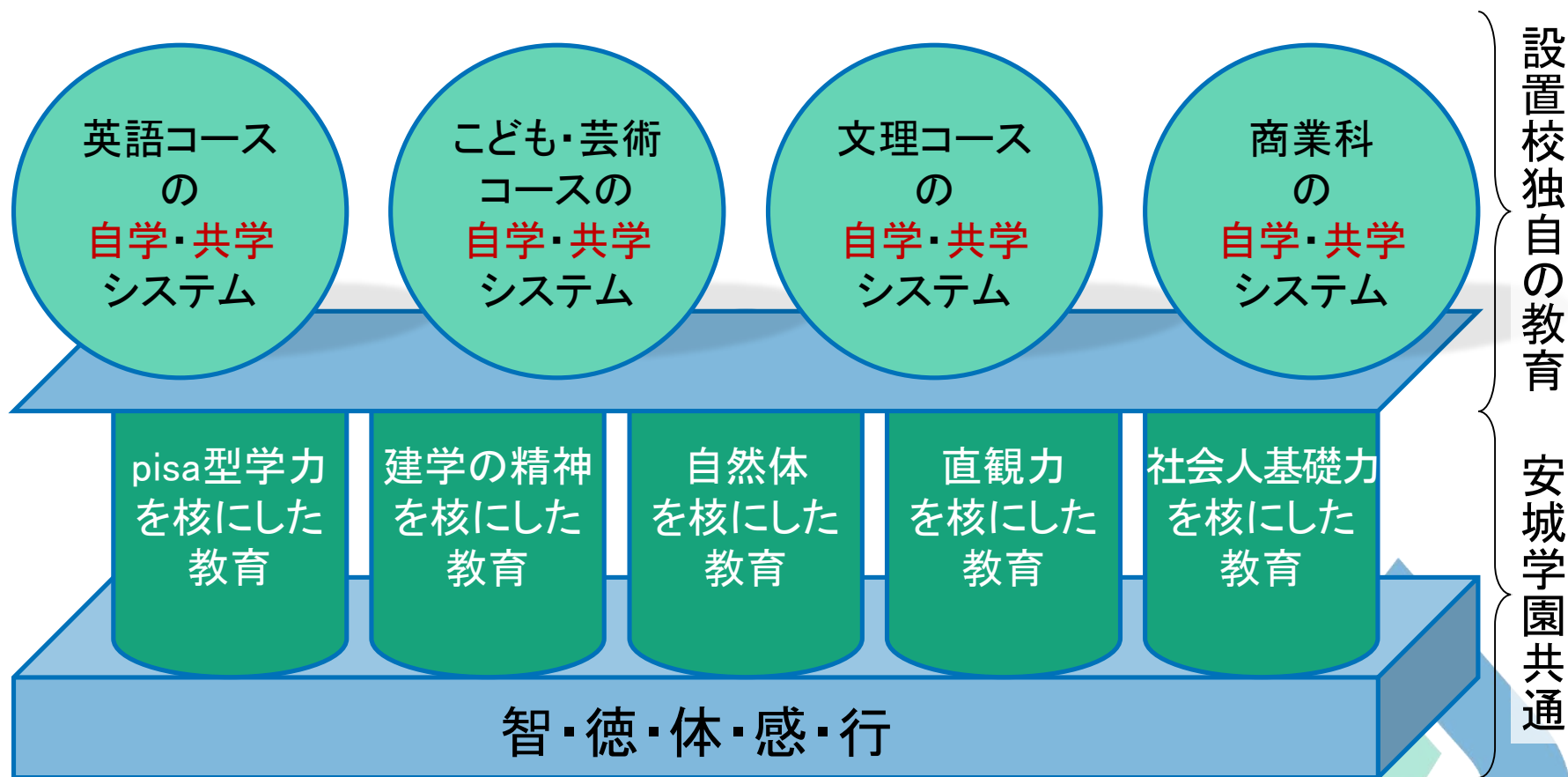
- 発信力
- 傾聴力
- 柔軟性
- 状況把握力
- 規律性
- ストレスコントロール力



安城学園の学習システム

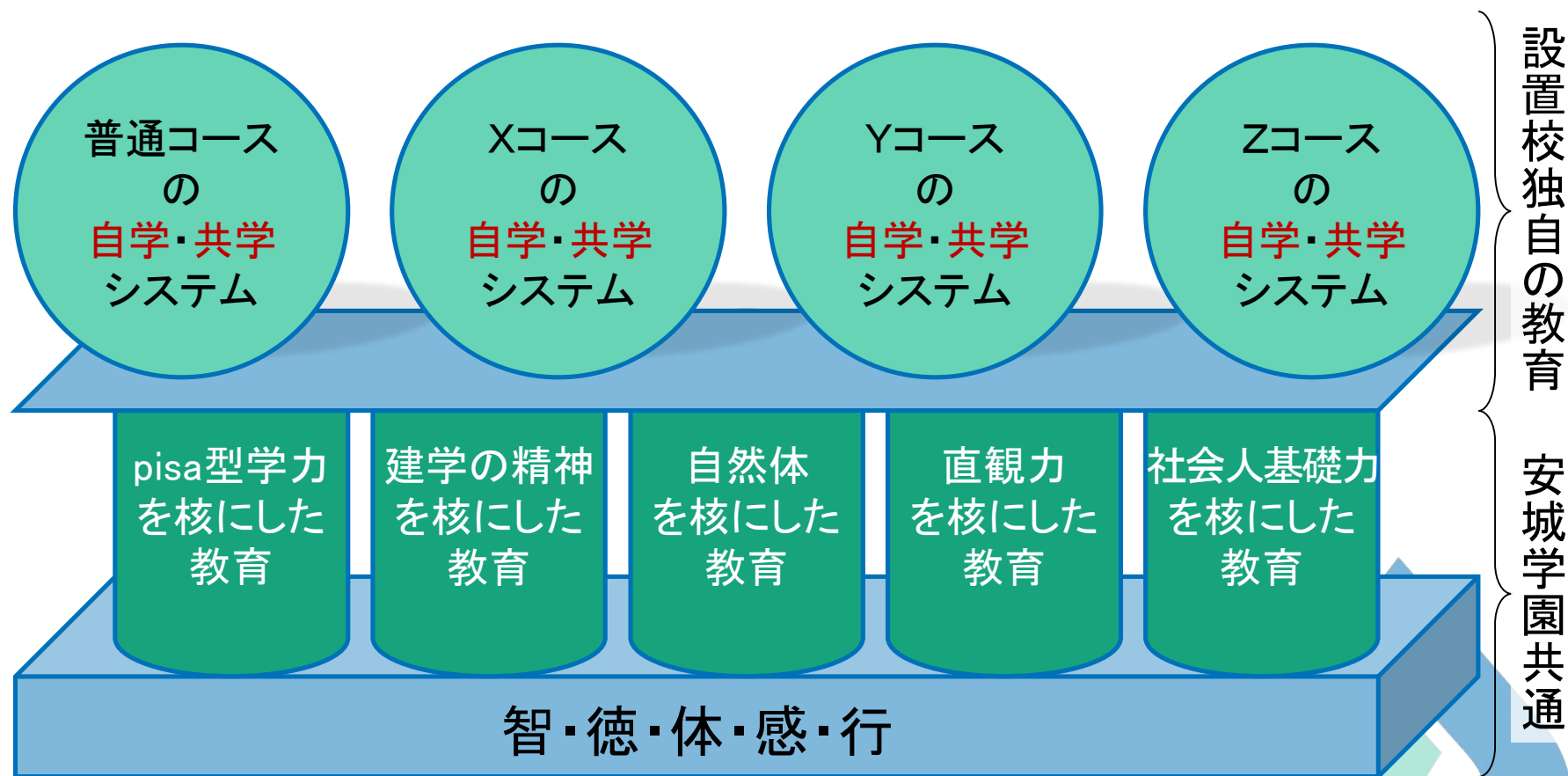


安城学園高校の学習システム





岡崎城西高校の学習システム



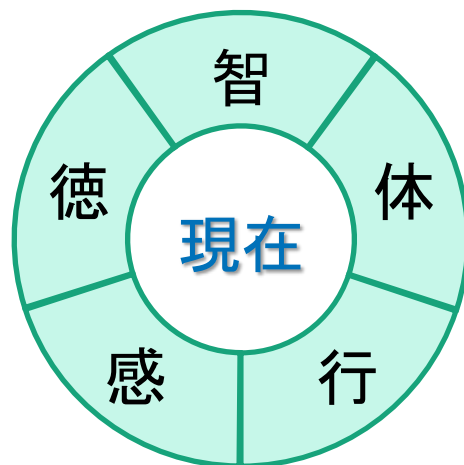
教育/学習システムの一貫性



これまでの社会
でも必要



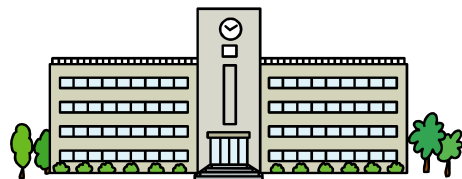
いまの社会
でも必要



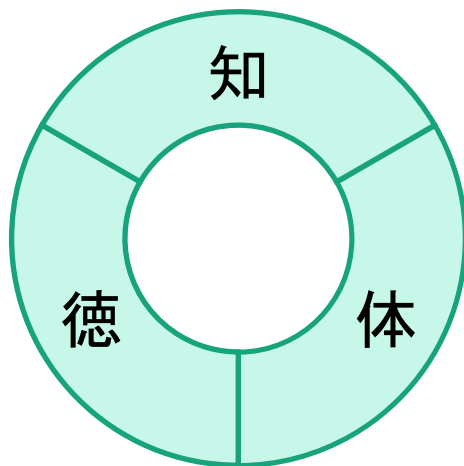
これからの社会
でも必要



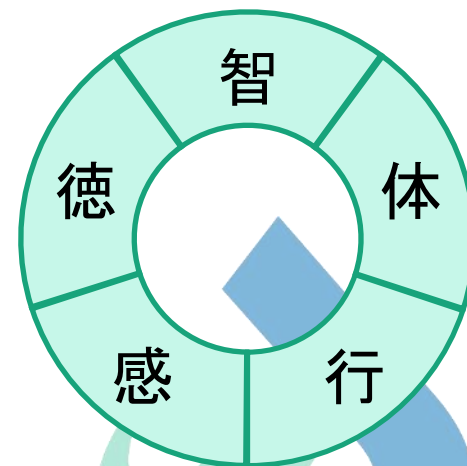
教育/学習システムの一貫性



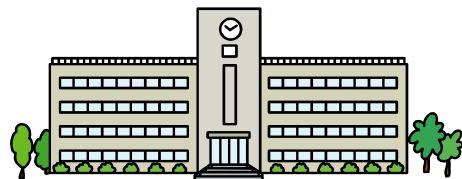
高校まで



社会に出て



教育/学習システムの一貫性



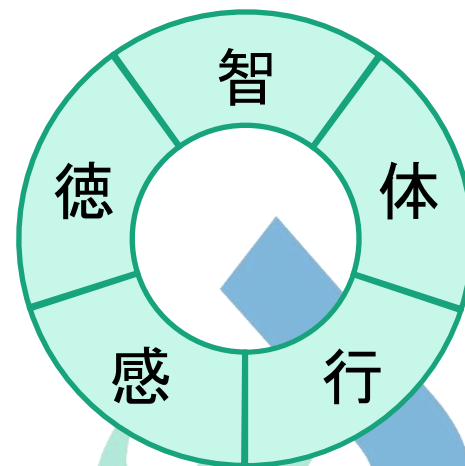
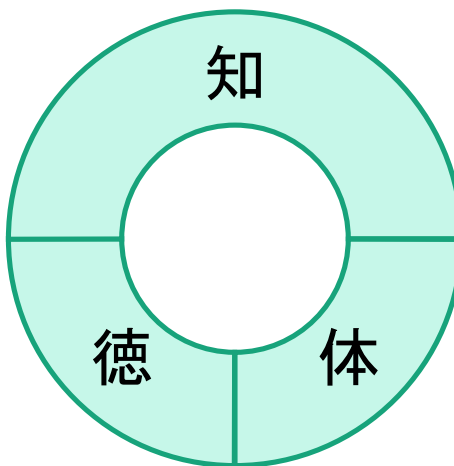
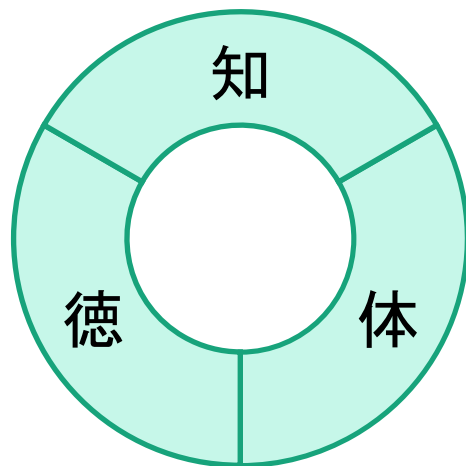
高校まで



大学・短大

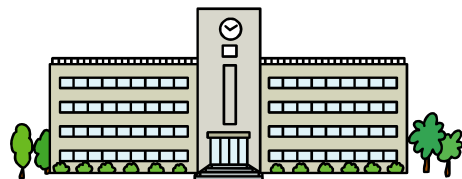


社会に出て



従来は「教育システム」「学習システム」に一貫性がない！

教育/学習システムの一貫性



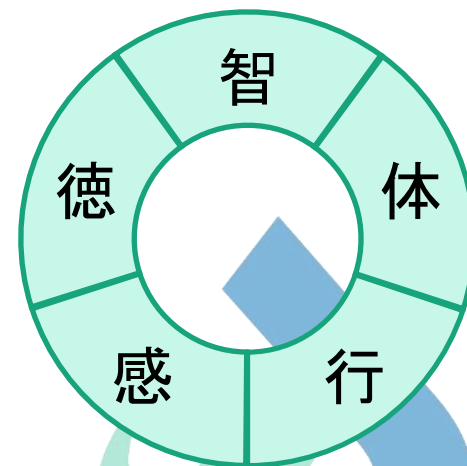
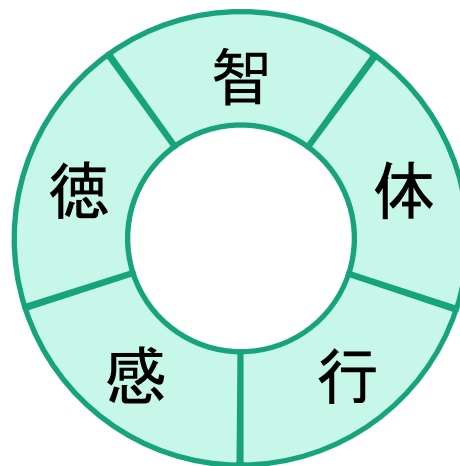
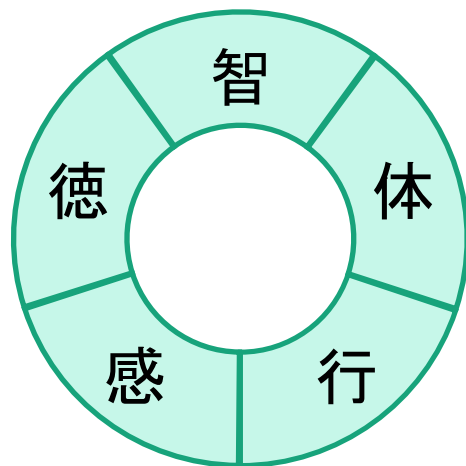
高校まで



大学・短大



社会に出て



「教育システム」「学習システム」の一貫性が重要！



「智×徳×体×感×行」プログラム・シラバス・教材の開発・実践

◆ 基本タイプ

- 「**智**」を鍛えるプログラム・シラバス・教材の開発・実践
 - ・ pisa型学力を鍛えるプログラム・シラバス・教材の開発・実践
- 「**徳**」を鍛えるプログラム・シラバス・教材の開発・実践
 - ・ 建学の精神を鍛えるプログラム・シラバス・教材の開発・実践
- 「**行**」を鍛えるプログラム・シラバス・教材の開発・実践
 - ・ 社会人基礎力をプログラム・シラバス・教材の開発・実践

⋮



「智×徳×体×感×行」プログラム・シラバス・教材の開発・実践

◆ 複合タイプ

- 「智×行」を鍛えるプログラム・シラバス・教材の開発・実践
- 「智×徳」を鍛えるプログラム・シラバス・教材の開発・実践
- 「徳×行」を鍛えるプログラム・シラバス・教材の開発・実践
- ：
- 「智×徳×体」を鍛えるプログラム・シラバス・教材の開発・実践
- ：
- 「智×徳×体×感×行」を鍛える……
 - ・ 例えば、総合学習、産官学連携などのプロジェクト型学習など…

◆あそびと集団生活を通して…

- **智慧**を育むことにより、**pisa型学力**の基礎の基礎を培う
- **心**を育むことにより、**建学の精神**の基礎の基礎を培う
- **身体**を育むことにより、**自然体**の基礎の基礎を培う
- **感性**を育むことにより、**直観力**の基礎の基礎を培う
- **創造力**を育むことにより、**社会人基礎力**の基礎の基礎を培う

(平成29年度 3幼稚園の事業計画書より)



「智×徳×体×感×行」プログラムとは

- ◆ 幼稚園教育のほとんどは総合学習
- ◆ 総合学習は複合タイプの「智×徳×体×感×行」プログラムの典型例
- ◆ 従って、幼稚園教育のほとんどは複合タイプの「智×徳×体×感×行」プログラム





安城学園の高校教員採用条件

- ◆「安城学園教職員憲章」に基づいて業務を遂行する意志又は能力のある者
- ◆ 学習モデル「智・徳・体・感・行」の下で「建学の精神」と「社会人基礎力」と「pisa型学力」を核にした教育プログラム・シラバス・教材を開発・実践する意志又は能力のある者
- ◆ この教育プログラム・シラバス・教材の開発・実践を目指して、年齢・性別に関わらず常に「3つの挑戦（苦手への挑戦・上達への挑戦・未知への挑戦）」と「3つの努力（勉強・研究・実践）」ができる者

あなたの仕事は...

- ◆ あなたの仕事は、**建学の精神**と**社会人基礎力**と**pisa型学力**を核にした**教育プログラム**、**シラバス**及び**教材**を**開発・実践**すること





おわりに





当面の目標

- ◆ 建学の精神と社会人基礎力とpisa型学力を核にした教育プログラム、シラバス及び教材をできるだけ早期(5年以内)に開発・実践すること





ご清聴

ありがとうございました。

